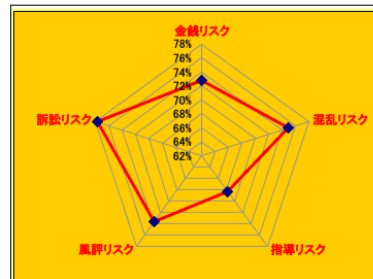


ロウムドック (簡易労務監査)

会社の現在の
労務管理の状況を
可視化。

リスク度、優先順位に
よる次の打ち手を
提案いたします。

全体的な同題点



- ◆**金銭リスク**
経済的な支出を伴うリスクの高さ
- ◆**混乱リスク**
職場内外において混乱が生じるリスクの高さ
- ◆**指導リスク**
労基署等の行政官庁から指導を受けるリスクの高さ
- ◆**風評リスク**
会社の評判が社外で悪化するリスクの高さ
- ◆**訴訟リスク**
従業員その他関係者より訴訟を提起されるリスクの高さ

はじめに

「労務監査コンサルティングツールlite 版」は、企業において発生する様々な人事労務トラブルや、労働基準監督署など行政官庁から指導を受けやすい事項について、50の設問に答えることによってそのリスクを分析するコンサルティングツールです。

金銭リスク	労働者からの請求などによって、想定外の金銭的支出を伴うリスクをいいます。特に最近では労働者保護的な法制が強まっていることから、損害賠償なども高額化しており、企業の経営基盤を揺るがしてしまうこともあるため、注意が必要です。
混乱リスク	職場内において混乱が生じるリスクをいいます。職場内の混乱は、働く従業員のモチベーションダウンに繋がり、風土悪化によってサービスの低下などに繋がることもあるため、注意が必要です。
指導リスク	労働基準監督署等の行政官庁から指導を受けるリスクをいいます。特に近年は、行政官庁の調査も増加していることから、事前に指導されやすい事項については、事業主に対して改善を促すことが求められます。
風評リスク	人事労務トラブル発生時において、近隣に悪評などが広がるリスクをいいます。こうした風評被害を受けると人材確保の面で苦戦をし、優秀な人材が確保できないといったことが生じる恐れがあります。
訴訟リスク	従業員（退職者も含む）から訴訟を受けるリスクをいいます。特に最近では、インターネットなどを活用して様々な専門的知識を得ることが容易な環境となっており、従業員も従来のように泣き寝入りをするだけでなく外部ユニオンなどを活用して訴訟に持ち込むケースが増加しているため、注意が必要となります。